

ふるさと島根寄附金

～平成23年度寄附金を活用した事業の成果～

(問い合わせ先)

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県政策企画監室

電話番号 : 0852-22-6233

FAX番号 : 0852-22-6034

電子メール : kifu@pref.shimane.lg.jp

～目 次～

1	活用成果の概要	1
2	寄附金を活用して実施した事業の成果	2
(1)	産業の振興に関する事業	2
(2)	自然環境の保全に関する事業	3
(3)	医療・福祉の充実に関する事業	4
(4)	教育・文化の振興に関する事業	5
(5)	子どもの読書活動の促進に関する事業	7
(6)	竹島の領土権の確立に関する事業	9
(7)	森林の保全及び整備に関する事業	10
(8)	防災対策の推進に関する事業	11

1 活用成果の概要

ふるさと島根寄附金として、36名の方々からいただいた寄附について、次のとおり平成24年度の事業に活用させていただきました。

寄 附 メニュー	寄附を活用した 事業費（円）	平成23年度 寄附額（円）
産業の振興	3,990,000	15,100
自然環境の保全	2,529,450	30,100
医療・福祉の充実	619,771	516,100
教育・文化の振興	15,310,000	285,200
子どもの 読書活動の促進	10,333,524	1,161,200
竹島の領土権の 確立	4,391,000	379,000
森林の保全及び 整備	508,000	65,100
防災対策の推進	595,068	5,200
事業の指定なし	-	※1,303,100
合計	38,276,813	3,760,100

※「事業の指定なし」分は、各メニューに配分して活用させていただきました。

2 寄附金を活用して実施した事業の成果

(1) 産業の振興に関する事業

【対象事業】

島根県観光ガイドマップの作成
(観光ガイドマップ「しまねパーフェクトガイドマップ」)

【事業の成果】

作成したガイドマップは、島根県の観光パンフレットとして、県内の宿泊施設、観光施設のほか、県外の旅行会社や観光イベント、県外高速道路のサービスエリア等で配布し、島根県の観光振興に役立てています。

発行部数：121,400部

【事業費】

3,990千円



(2) 自然環境の保全に関する事業

【対象事業名】

自然公園施設維持補修事業

【事業の成果】

龍頭八重滝県立自然公園（雲南市掛合町）は、龍頭が滝とその一帯の山域及び八重滝とその一帯の山域の2つの団地からなっています。

龍頭が滝と八重滝は離れた場所にあります。 「龍頭八重滝」として「日本の滝100選」に選定されています。

このうち、龍頭が滝は、国道54号線の西側、滝谷川に懸かる高さ40メートルの滝で、周囲はうっ蒼とした杉並木やウラジロガシを主体とする広葉樹林で覆われ、第1級の瀑布景観となっています。

この龍頭が滝への案内標識の設置を駐車場の補修工事にあわせて行いました。

【事業費】

2, 529千円



龍頭が滝



設置看板

(3) 医療・福祉の充実に関する事業

【対象事業】

がん情報提供強化事業
(がん関連図書整備)

【事業の成果】

県立図書館の「がん関連図書コーナー」に、がんに関する知識の普及のための図書の整備を行いました。

がん関連図書は、従来の図書に平成24年度整備した図書を加え1020冊となりました。

平成24年度整備図書 184冊

【事業費】

619千円

【がん関連図書コーナー】



(4) 教育・文化の振興に関する事業

【対象事業】

世界遺産登録記念事業（5周年）

【事業の成果】

郷土の誇る史跡である、世界遺産・石見銀山。平成19年に世界遺産登録されてから5年目を迎えるにあたり、記念の事業を行いました。

19世紀の終わりのほぼ同時期に開発され、石見銀山と人的にも技術的にも交流があった台湾・瑞宝鉱山に関する資料を展示し、近代石見銀山の歴史をたどるとともに、台湾の鉱山における近代開発の歴史を紹介するなど、石見銀山と金瓜石・瑞芳鉱山の知られざる絆に光をあてる企画を実施しました。

大田市大森町の世界遺産登録地の入口に当たる石見銀山世界遺産センターにおいては、下記のスケジュールで展示を行いました。

また、展示期間中には、台湾の鉱山に関する関係者や有識者を招いて、大田市内で日台の鉱山遺跡を通じたつながりや今後の鉱山活用などを考える国際シンポジウムも開催しました。

【展示】

開催会場：石見銀山世界遺産センター（大田市）

開催期間：平成24年10月31日～11月26日

来場者数：約5,200人

【国際シンポジウム】

開催会場：あすてらすホール（大田市）

開催期間：平成24年11月17日

来場者数：80人

【事業費】

15,310千円

【展示】



会場写真①



会場写真②



会場写真③

【国際シンポ】



会場の様子



パネルディスカッション

(5) 子どもの読書活動の促進に関する事業

【対象事業】

① 読みメンプロジェクト

未就学児対象事業として、「父親による親子読書（読み聞かせ）」を啓発するためのリーフレットの作成

② 「しまね子ども読書フェスティバル」開催（県内3か所の実行委員会に委託し、海士町、川本町、飯南町で開催）

【事業の成果】

「子ども読書県しまね」の実現に向け、これまでの取組みに加え、未就学児とその親世代へ向けた取組みを充実しました。

① 未就学児の読書習慣の定着を図るため、家庭で子どもが親に絵本の読み聞かせをせがみ、親が子どもに絵本の読み聞かせをすることを目指し、「読みメンプロジェクト」「ねえ、この本読んで。」プロジェクトをスタートしました。

第1回目の啓発イベントに合わせリーフレットを8万部作成し、県内各保育所、幼稚園、子育て支援センターなど、子ども達とその保護者が集まる場所へ配布し啓発に努めました。



- ② 親子活動への理解を深めていただき、親子で読書活動に親しむきっかけのひとつとすることを目指し、「しまね子ども読書フェスティバル」を公募し、県内3カ所で開催されました。

[しまね子ども読書フェスティバル in 海士]

日時：平成24年11月17日（土）

会場：海士町中央図書館

主な内容：親子向けおはなし会親子読書講座

内藤直子氏講演

読書ボランティア研修会

ライブラリーカフェ

学校図書館活動パネル展

参加者：約60名



[しまね子ども読書フェスティバル in 川本]

日時：平成24年11月25日（土）

会場：悠邑ふるさと会館

主な内容：岩田英作氏講演会

ブックカフェ

地元サークル&おはなしレストラン

によるおはなしもりだくさん

学校図書館活動パネル展

参加者：約100名



[しまね子ども読書フェスティバル in 飯南]

日時：平成25年3月3日（日）

会場：島根県中山間地域研究センター

主な内容：佐藤伸氏講演会

絵本コンシェルジュ

ブックカフェ&古本市

学校図書館活動パネル展

参加者：約150名



【事業費】

10,333千円

(6) 竹島の領土権の確立に関する事業

【対象事業】

竹島返還要求推進事業（竹島領土権確立のための啓発資料等の作成）

【事業の成果】

「竹島学習リーフレット 竹島 ～日本の領土であることを学ぶ～」を8月に5,000部、10月に20,000部、竹島問題啓発ポスターを9月に2,000部、パンフレット「かえれ島と海」(概要版)を3月に3,000部、また、竹島問題に関する調査研究報告書（平成23年度）を3月に1,000部を作成し、竹島領土権確立のため、各関係機関に配布しました。

【事業費】

4,391千円



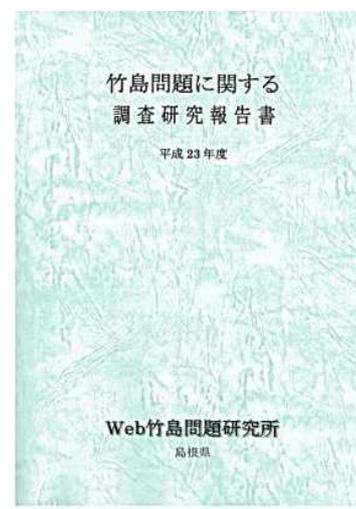
竹島学習リーフレット
竹島 ～日本の領土であることを学ぶ～



竹島問題啓発ポスター



パンフレット
「竹島 かえれ島と海」(概要版)



竹島問題に関する調査研究報告書
(平成23年度)

(7) 森林の保全及び整備に関する事業

【対象事業】

水と緑の森づくり事業（みーもの森づくり事業）

【事業の成果】

県民にとって身近なところにある里山・観光地周辺森林の景観対策や県民の利用が多い施設への木製ベンチの設置などに対する助成を行いました。

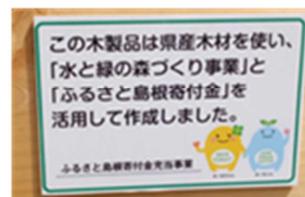
<利用例>

地域活動を行う団体が、社会福祉法人の特別養護老人ホームに地元から切り出した木で作ったベンチを設置する経費の一部に活用しました。

地域の森の間伐材が行われ、ベンチを設置された施設のお年寄りや、訪れる人には地元の木の暖かみ、木の良さを感じてもらうことができました。

【事業費】

508千円



(8) 防災対策の推進に関する事業

【対象事業】

地域防災リーダー育成研修及び防災パンフレット作成

【事業の成果】

住民の防災力強化を目的として、自主防災組織の育成と活動促進を図る地域リーダー向け防災研修を安来市と大田市で開催し、2会場で計99名の方が参加されました。

研修では、地域の防災意識の向上や自主防災活動の促進について理解を深めるため、山口大学大学院准教授による講演のほか、災害図上訓練を実施しました。

また、地域住民向けの防災パンフレット1,000部を作成し、県が主催する各種防災研修等に活用しています。

○研修内容

(1) 研修形態

講師進行による災害図上訓練（D I G形式）

(2) 訓練想定

風水害

(3) 訓練内容

- ・ハザードマップ等で各地域で想定される災害・被害を認識
- ・地域の状況を認識
- ・災害時の対応を考える

○参加者：安来会場53名、大田会場：46名



大田会場の災害図上訓練の様子



防災パンフレット

【事業費】595千円